seide ザイド・ダイナミックマイクロフォン

取扱説明書

取扱上の注意

マイクのヘッド部分を包むように握ると、ハウリングが起こりやすくなります。

マイクをスピーカーに近づけすぎた場合、ハウリングが起こります（スピーカーの音をマイクが拾うためです）。このような場合は、ボリュームを下げ、マイクをスピーカーから離す、またはマイクとスピーカーの位置関係・向きを変えてください。

マイクを落としたり強い衝撃を与えると、マイクの音が出なくなることや音が変わってしまうことがあります。

高温多湿の場所にマイクを放置しないでください。

使用法

マイクと口の距離が5～10CM程度がベストな音です。

マイクを口に近づけすぎると、音がこもり低域が強調されます（近接効果）。またポップノイズが目立つようになります。

接続方法

①接続
マイクのXLR端子に付属のケーブルを差し込みます。カチッという音がするまでしっかりと奥に差し込みます（ケーブルがロックされます）

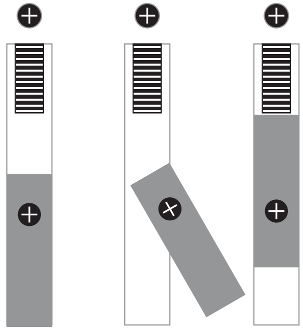
②取り外し
ケーブルコネクター部分のボタンを押してロックを外し、ケーブルを抜きます。

③XLRの結線
市販のマイクケーブルを使用する場合は、「2番HOT」のものを使用して下さい。
音が出ない場合、ケーブルの結線が間違っている場合があります。

④マイクホルダー
付属のマイクホルダーをお使い下さい。
市販のマイクホルダーの場合、サイズを確認してからご使用ください。

スイッチについて

スイッチはヘッド側がONです。
マグネットスイッチのため、ON/OFF時のノイズが目立たなくなっています。



スイッチ下のプレートを取り外し、上下逆にして取り付けると、スイッチがONの状態で固定することができます。
ライブなどでスイッチがOFFになると困る場合に便利です。

故障・修理

お買い求めの販売店にご相談ください。

音が出ない
・コネクターがしっかり差し込まれているか確認して下さい。
・ケーブルを違うものと換えてみて下さい
・ON/OFFスイッチを確認して下さい

コネクターが抜けない
・まれにコネクターの相性によって抜けなくなる場合があります。

輸入元：
IDEコーポレーション
〒534-0027　大阪市浪速区恵美須西1-1-4
DESIGNED IN JAPAN, MADE IN CHINA